

水戸教育事務所だより

すべての子どもたちのために 学校のために 市町村教育委員会のために

第 22 号

2025 年 2 月 7 日

重点課題

学力向上の保証（一人一人の子どもを主語とした学びへの転換へ）

いばらきサイエンスキッズ育成事業では、「理科授業の質の向上」と「探究的な活動の充実」の2本柱で年間様々な事業を実施してきました。

【理科授業の質の向上】効果的な指導法プレゼンテーション大会

令和7年1月24日（金）に開催されました。6名のプレゼンターの先生方が取組を発表し、90名以上の先生がオンラインで参加くださいました。

管内では、那珂市立瓜連中学校の田澤 健吾教諭が、ICT活用部門で「自らの問いを納得がいくまで探究することができる生徒の育成」というテーマで発表しました。生徒自らが問いを見つけ、課題を解決できるよう「問いストーリーシート」やパドレット、スプレッドシートを活用していました。県の理科の重点目標である「科学的に探究する力の育成」に取り組み、実践しました。参加した先生からは、探究の時間の確保や課題の見つけられない生徒への支援についての質問がありました。探究する時間の確保には、単元計画をしっかりと立てること、生徒への支援では、一人一人の生徒に合った学習方法を提案している等、プレゼンターの先生方と参加者の意見交換も積極的に行われました。

プレゼンターの先生方が発表した「教材開発」や「ICT活用」は、すぐに授業に活かせる、しかも児童生徒が理科に興味を持つきっかけになる内容のものばかりでした。



那珂市立瓜連中学校
田澤 健吾 教諭

【プレゼンター（優秀賞の先生方）】

教材開発	古河市立総和南中学校	新井 翔太	光の性質
	北茨城市立明德小学校	高瀬 壮詩	酸塩基試験紙
	高萩市立松岡小学校	滝 裕子	からだのつくり、カードの利用
	稲敷市立新利根中学校	島田 恵佑	電流の利用、ベルトの活用
ICT活用	那珂市立瓜連中学校	田澤 健吾	探究的な学び、パドレットの活用
	神栖市立波崎第三中学校	山口 真一	参考書作成、ロイロノートの活用



【探究的な活動の充実】科学の甲子園ジュニア県大会

児童生徒の科学への興味・関心を高め、理科の学力向上を図る事業として、中学1・2年生を対象にした「科学の甲子園ジュニア」を毎年実施しています。7月中旬の予選会には、今年度も多くの生徒が参加しました。

1・2年生の参加率がどちらも80%以上の学校には「学校賞」が授与され、管内では12校が受賞しました（右表）。また、10名の生徒が「個人賞（成績優秀者）」として選ばれました。

8月の県大会には、管内から3校が出場し、競技（筆記、実技）に臨みました。実技競技「コマ de STEAM」では、いろいろな形の回転板のどこに軸を刺せば、回転するコマになるか、チームで試行錯誤しながら作成していました。知識と経験を活かして取り組む姿がとても素晴らしかったです。

来年度も多くの学校、生徒の参加をお待ちしています。

【学校賞】

所属	学校名
水戸教育事務所	1 水戸市立国田義務教育学校
	2 小美玉市立小川北義務教育学校
	3 城里町立桂中学校
	4 笠間市立みなみ学園義務教育学校
	5 笠間市立岩間中学校
	6 大子町立南中学校
	7 大子町立大子西中学校
	8 ひたちなか市立勝田第一中学校
	9 ひたちなか市立那珂湊中学校
	10 那珂市立第二中学校
	11 常陸大宮市立第二中学校
	12 常陸大宮市立大宮中学校

【県大会出場校】

ひたちなか市立那珂湊中学校
水戸市立第二中学校
ひたちなか市立勝田第三中学校

【実技競技】

右図のような形に軸を刺して回転するコマを作成し、回転する時間を競う。

